他大学ポータルサイトの調査(調査中)

角倉 立雪

<ポータルとは何か?>

インターネットで使われた当時はある特定のテーマに関する情報へのリンクを提供する Web サイトのことを示していたが、現在ではある特定のテーマに問わず「様々なテーマに 関する情報及びサービスへの入り口を、一つの画面に集約してユーザに表示することで、生産性・利便性を高めることを目的する Web サイト」というように、より広い概念でポータルという言葉が使われている。前者は垂直型(Vertical)ポータル、後者は水平型(Horisontal)ポータルと呼ばれており、垂直型ポータルを複数束ねたものを水平型ポータルと解釈することもできる。ちなみに企業を対象とした水平型ポータルは"企業情報ポータル"、大学を対象にした水平型ポータルを"大学ポータル"と呼ばれている。

<ポータルシステムとは何か?>

ポータルシステムとは、組織などの様々なサービスの入り口となるサイトを指す一般的な呼称である。ただし本校ではこのようなシステムを"ポータル"と呼び鳴らしている。

<本校のポータルサイト>

本校のポータルサイトでは単位取得の為の教材・教授・スケジュールの確認や試験範囲など 主に学生の為の情報と本校連なる格専門学校(大阪情報専門学校など)の専門コースやイベ ント関連の申し込み、入学案内等の未だ入学していない一般向けの情報で構成されている。 <使用単語>

- ・UI(ユーザーインターフェース)
 - 一般的にユーザー(利用者)と製品やサービスとのインターフェース(接点)すべて。
- ・UX (ユーザーエクスペリエンス)
 - ユーザーが製品やサービスを通じて得られる体験のことを意味する。
- ・インターフェース (英:interface)

もともと「接点」や「境界面」を意味する語であり、特にコンピュータシステムにおいて 異なる機器やシステムを接続する部分を指す用語として用いられる表現。 人間と機械の接 点となる入出力システムを指す場合もある。

使用 URL: https://pm-rasinban.com/bd-write

・ポータルサイトの開始画面・呼称:

認証画面にて日本語と English の二つがある。呼び名はアカンサスポータル。

この大学ではポータルサイトと Web サイトの併用で運営している。

・アカンサスポータル:

独自の機能に加え、学内情報システム(サービスプロバイダ.以下、SP)の玄関(ポータル)の役割を担う(図 1 参照). アカンサスポータルに接続すれば、一度の認証で学内の主要な情報サービスを受けることが可能である. ポータルの認証には、本学の統合認証基盤として開発された金沢大学統合認証システム(Kanazawa UniversitySingle Sign-On、以下、KUSSO)を利用している 2). この統合認証基盤には、Shibboleth3)と呼ばれるシングルサインオン(以下、SSO)を可能とする技術を利用している.

・シングルサインオン(SSO):

1組のID・パスワードによる認証を1度行うだけで、複数のWebサービス・クラウドサービス・アプリケーションにログインできるようにする仕組み。

·Shibboleth(シボレス):

Web のオンライン情報への個別アクセスに対して、個人情報を保護する方法で、個人情報に基づきアクセスを許可する SAML のフェデレーション認証方式であるため、安全で便利なソフトウェアである。

・UIのデザイン評価

デザイン評価を行った結果、アイコンと文字が被った状態になるような問題から、文字サイズを変更する機能自体がうまく機能していないことや、インタビューの結果から学生の使用頻度が高い項目が画面外に存在する状態など様々な問題が発見

·BtoB におけるデザインの調査からの考察

インタビューや調査の結果から製品として 2009 年に発売された Campusmate-J のデザインは、現在の学生ユーザーに良い体験を与える UI ではなく、問題があると考えられる。しかし、アップデートや新しい製品の発売などがされていないまま 10 年近く経過している。このようなことから BtoB 製品では使用年数が長く、安定性を保つことが重視されていると判断でき、BtoC 製品のように早いペースでアップデートを行うことが難しく、改善やアップデートがない以上、デザインガイドラインも十分に活用できず、新製品が誕生する際にはまた別のデザインガイドラインが誕生するのではないかと考える。そこで、具体的なデザインではなくその上流である行動や価値などの要素とそれらの関連性についてのガイドラインを作成することでこの課題を少しでも解決することができるのではないか、と考えられる。

金沢大学 (アカンサスポータル)



アカンサスポータルの機能および 開発の経緯・思想・工程・開発方式について記述すると ともに、全学ポータルシステムとして 4 年間運用してきた実績を運用状況、動作実績、 運 用経験の観点から、分析・評価

アカンサスポータルは、他大学などでも再利用可能な開発思想となっており、また、システムの著作権は本学が保持しているため、自由に利用、カスタマイズが可能である。開発したプログラムについては、本学の許諾・契約の下、他大学が自由に利用可能である。提供後は、特に承諾なく他大学が自由に改変可能だが、商用として利用する際には、事前に本学の許諾が必要である。本学のシステム開発の特徴は、どのようなシステムを構築するか全体構想を行い、個々の機能については、その構想や仕様に沿った形で作成を進めていることである。また多様なサービスを機能単位にモジュール化して行う点にあり、必要な機能のみをプラグイン方式で利用することが可能である。すなわち、他大学にシステムの移行を行う際にも、大学の規模や要望により、機能を必要に応じて選択して利用することが可能である。現状は、現代 GPで開発を行った機能が、石川県の各大学が加盟して運営されている「大学コンソーシアム石川」と「東京学芸大学」で稼働している。

青山学院大学



- ・学生・教員・事務職員の相互コミュニケーションの実現
- ・授業・学習支援を強化するシステム
- ・ワンストップ+ノンストップなサービスを WEB で実現
- コンテンツ保有各部署との連携(以下三つの区分)
- 1,授業支援コンテンツ

授業ごとのページが作成され、授業に関する情報が集約されており、教員から受講生へのメッセージ、随時更新される最新のシラバスの提供、将来的には LMS (授業録画などの授業支援システム) などが用意されている。

2. 学習支援コンテンツ

各教育関連部署にて用意されているコンテンツの集約された入り口が用意されている。(IT 講習会、図書館のオンラインサービス、e-learning など)

3. 事務情報コンテンツ

主に各事務部署からのお知らせや呼び出しなどが、視覚的に提供されている。

新潟国際情報大学のポータルサイト



ポータルの初期画面 (ログイン直後の画面) は次の 5 つのタブを持っている。すなわち、「Home」、「授業・成績」、「シラバス」、「進路・就職」、「その他」の 5 つである。各タブにカーソルを載せるとドロップダウンリストが開き、さらに別な機能にアクセスできる利用者の特性

- 大学生・大学院生(10代後半~20代半ば)の男女
- 高い情報リテラシー(情報システムの使い方の知識、スキル)をもっているとは限らない
- ケータイやスマホにより情報端末の使い方はある程度慣れている
- 大学内・外でポータルにアクセスする 画面設計の基本方針
- ① 画面間に一貫性を持たせる
- ② 少ない入力操作で済むようにする
- ③ 短期記憶に頼らないようにする
- ④ システムから有益なフィードバックが得られるようにする
- ⑤ 簡単なエラー処理ができる
- ⑥ 逆操作(Undo。アンドゥ)ができるようにする

摂南大学ポータル



ポータルの初期画面(ログイン直後の画面)は次の 5 つのタブを持っている。すなわち「HOME」「講義関連」「履修・成績」「健康診断」「シラバス」「教職課程」「その他」の7つである。